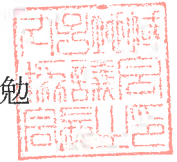


上田市 市長 土屋 陽一 様

丸子地域協議会
会長 小林 勉



意見書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり地域協議会の意見を提出します。

記

1 件 名	循環バスからデマンド交通への転換についての提言
2 意見内容	<p>現在、運行中の丸子地域循環バス「まりんこ号」は、平成12年1月、公共交通空白地の解消と住民の通院、買い物等の移動手段の確保を図ることを目的に運行を開始しました。</p> <p>これまで、丸子地域協議会の交通分科会において、循環バスの利用促進のため、住民ニーズの調査、循環バスの利便性向上のため運行ルートやダイヤの見直し等を行ってまいりました。しかし、循環バスの利用者減少に歯止めがかからず、令和元年度には1便当たりの利用者が2人を割り込むこととなりました。この現状から、新たな公共交通システム（デマンド交通、タクシー等）の研究を行い、また、令和2年10月からは、丸子まちづくり会議との合同交通部会を発足し、交通有識者を交え、改めて協議・検討を重ねてまいりました。</p> <p>今回提言する内容は、循環バスの目的や運行エリアを踏襲しつつ、地域住民により多く利用される公共交通を目指しています。循環バスとは違い、自宅近くでの乗降や目的地への運行が可能となり、武石デマンド交通システムとの連携にも考慮したものとなっています。</p> <p>また、地域の活性化や高齢者の外出機会が増えることによる健康増進等、様々な波及効果が期待されます。</p> <p>以上のことから、丸子地域協議会は上田市に対し、循環バスからデマンド交通への転換について提言し、利用者の立場に立ったより良い交通システムとなるようお願いするものです。</p> <p>この提言は、丸子地域循環バスを地域要望に合わせた運行形態へと転換するもので、今後も要望や情勢の変化に合わせて柔軟に事業を見直していくことを要望するものです。</p> <p>また、路線バス等、その他公共交通機関との連携も強化し、現在の地域公共交通を維持しつつ、相互の利便性向上を図れるようお願いいたします。</p>